



令和6年度スタート！

『1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～』

校長 中山 英三

青空の下で街が桜色に染まります。心も自然と躍り出す、優しい季節となりました。新入生46名を迎え入れ、さあ、令和6年度のスタートです。

始業式および入学式の中で、私は、ある児童の「感想」を紹介しました。それは、昨年度の11月に陶町で行われた「ふれあい広場」の後に書かれた、次のような「感想」です。

（「ふれあい広場」で行われた）ゲームでは、地域の人の応援してもらい、南中の人にも声をかけてもらって楽しむことができました。次はいつか参加してくれる人を応援してあげたいです。

ここには、本校の目指す教育の理念が凝縮されている気がします。



（1）地域との連携・協働の中で生徒を育成

「ふれあい広場」には、本校からも21名のボランティア生徒が参加しました。それは、稲津地区・陶地区の垣根を超えての参加でした。地域の中での活動、地域の方との交流は、生徒たちの自己肯定感や自己有用感に強くつながります。陶町も稲津町も地域ぐるみで子どもを育てようとしています。その志は、学校も同様なのです。今年度からは本校もコミュニティ・スクールとなります。地域との連携・協働の在りようを常に模索・検討しながら、今年度も地域と一体となって教育活動を進めたいと考えています。

（2）自分から何かをしたい、してあげたいという気持ち

「感想」内の、「次はいつか参加してくれる人を応援してあげたいです。」という言葉に目が留まりました。「自分から何かをしたい」という気持ちは「主体性」であり、「何かをしてあげたい」という気持ちは、自分の存在意義の自覚である「自己有用感」につながります。

本校では、今年度の合言葉を『1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～』とします。これは、先に述べた「主体性」や「自己有用感」を豊かに育みたいという願いからのものです。

合言葉『1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～』の下、職員一同、今年度も“わくわく”しながら教育活動を進めます。保護者や地域の皆様におかれましては、今年度も学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<学校の教育目標> 確かな学力 豊かな心 丈夫な体

<目指す生徒像> 仲間や環境に主体的に働きかけ、自己肯定感（特に自己有用感）を育む生徒
ふるさとに誇りと愛着をもち、胸を張って進路をつかみ取る生徒

<目指す職員集団> ①協働 ②ひと手間・ひと工夫 ③寄り添いともに活動 ④心身の健康を守り合う

<四本柱> 楽しく学び合う授業・気持ちにつながる挨拶・美しさを求める掃除・想いを伝える表現

<合言葉> 1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～



令和6年度瑞浪南中学校職員一覧「よろしくお願ひします！」

校長	中山 英三	2年主任・2B担任	小倉 佳祐	教育相談支援員	加納 公子
教頭	土田 慎治	2A担任	田口 瑠莉	教育相談支援員	栗木美由紀
教務主任	河田 佳則	F組担任	篠原恵美子	学業支援員	蟹井 恭子
養護助教諭	加納 歩実	3年主任	原 勉	学業支援員	渡邊千万子
事務職員	速水美和子	3A担任	加藤 理恵	図書支援員	西尾 幸子
校務員	福留 夏美	3B担任	掛布 啓太	給食配膳員	山内 夏美
1年主任	斉木 宏江	E組担任	酒井 厚司	S C	松本佐江子
1A担任	飯干 友裕	非常勤講師(音楽)	小林 理恵	A L T	クリス・アン・ハミルトン
1B担任	西尾 侑真	非常勤講師(美術)	上休場 満		
I組担任	内田 琴音	初任者指導	杉浦 正佳		

令和6年度 第1期の予定

4 月	8	月	着任式・始業式・入学式(給食なし)
	9	火	命を守る訓練 対面式・生徒会説明会 部活動説明会 自転車通学説明会
	10	水	身体測定
	11	木	P T A本部役員会
	12	金	小中教育研究会 13:40 下校
	13	土	
	14	日	
	15	月	生徒総会
	16	火	P T A役員会
	17	水	生徒会
	18	木	全国学力学習状況調査(3年) 市学力学習状況調査(2年) 知能検査(1年)
	19	金	内科検診
	20	土	授業参観 P T A総会 学年懇談会 弁当必要
	21	日	
	22	月	振替休業日
	23	火	検尿
	24	水	二者懇談
	25	木	二者懇談
	26	金	二者懇談
	27	土	
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火	二者懇談	
5 月	1	水	
	2	木	合同引き渡し訓練(幼少中合同)

※今年度も、学校生活の様子をホームページで紹介していきます。ぜひご確認ください。

【南中ホームページ】 <https://minamichu.city.mizunami.gifu.jp/>